



いただきマス

おい、その子ども。すこし道を探ねたい。このあたりに村はないか？
なんでも以前雇っていた者が突然やめてしまい困っていると相談をうけてな。
都の騎士団から派遣されてきたのだが、慣れない土地で村を探すのに苦労しているのだ。


なに？村まで案内してくれるのか。そうか、それは助かる。ではよろしく頼むぞ。
ん？駄賃が欲しいだ？ふん、意外に利口な奴だな。
いいだろう、村まで案内したらくれてやる。それでいくら欲しいのだ？



……なッ、なに!? 駄賃は今すぐ…体で払えたと!?
ふ、ふとけた事をいうな!
なぜ私が貴様ののような子どもの慰め者にならねばならんのだ!

まったく、最近の子どもはいったい何を考えているのだ……。
もういい、村は自分で見つけ……うっ、……な、なんだ……急に……めまいが……





あなたは目の前にいる子どもと先ほど
「村まで案内させる駄賃は体で支払う」
という約束をしました

騎士であるあなたは相手がたとえ子どもでも交わした約束は
絶対に守らなければなりません
いますぐ彼に気が済むまで交尾させてあげましょう

………ん？…あ…ああ、そうだった。駄賃は体で払う約束だったな。
すっかり忘れていた。怒鳴ってすまなかつたな。

ではさっそく始めよう。すぐに交尾の準備をするから、おまえも服を脱いで待っている。



すまない、待たせたな。
悪いが数日体を洗っていないので少々臭うが我慢してくれ。

さあ遠慮することはない……。約束通り好きになだけ私の子宮を犯していいぞ。



あつ！ ああああ！ んっ、んぐっ！ ぐうううっ……！
ま、まで！ そんなに慌てっ……うわあつ！ ああッ！

いつ、痛ッ！ んっ……んああ！ あああつ！ あんっ！
た、頼む……もうすこし優しく……あああッ！



……はあ……はあ……さっそく膣に射精したか……。
おまえは子どものくせになかなか激しい交尾をするのだな……。


だがこれぐらいでは満足していないだろう。
日暮れまでまだ時間がある。思う存分私の体で楽しんでくれ。



……うっ！……うっ、うっ……ぐっ！んぐっ！
……ま、まだ、終わらっ、ないのか？


このままでは、日がっ、し…沈んでっ、しまっぞッ……！！
魔物に、襲われるっ、前に……は、はやく、済ませるのだ……！！






う……うぐ……。はあ、はあ……。はあ……。よ……。ようやく終わったようだな。
うう……。もう腰に力が入らん。だが早く村まで行かなければ……。

……。なに……!! 最初から村まで案内する気はなかっただど……!!
そ、そんな……。それでは約束がちが……。うっ……。……。



あなたはこの男の子を好きになってしまいます。
これから毎日彼の性処理の相手になってあげましょう。



……ハ……ハハッ。おまえ……よく見ればなかなかかわいい顔を
しているじゃないか。……気に入ったぞ。

いいだろう。村に行くのは後回しだ。
しばらくはおまえの元で肉奴隷として働いてやろう。光栄に思うがいい。



ゴチ